

第18回まつやま子ども読書フォーラム

空想の森へ —物語を育てる人と場所—

令和8年

2月21日(土)

13:00~16:00

松山市総合コミュニティセンター
3階 大会議室

歌やおはなから絵本へ、絵本から読みものへ、そして物語の世界へ…子どもたちはさまざまな出会いを重ねながら、読書のとびらを次々と開いていきます。その傍らには、どんな人や場所があったのでしょうか。

このフォーラムでは公民館での図書を通じたコミュニティ作りや、人と人が絵本でつながる場所作りの実践報告のほか、小説家の宇佐美まこと先生をお迎えし子ども時代の読書から創作へとつながっていったお話をうかがいます。……午後のひと時、空想の森に迷い込んでみませんか。

【受付期間】1月15日9時30分～2月14日17時

【定員】100名（先着順）

定員になり次第
受付終了します

お申込みは便利な
2次元コードから
(えひめ電子申請システム)
→→



お申込み
お問合せは
こちら

松山市立中央図書館

089-943-8008

tosyokan@city.matsuyama.ehime.jp

【主催】まつやま子ども読書活動推進ネットワーク会議

第18回



まつやま子ども読書フォーラム も大人も!

空想の森へ～物語を育てる人と場所～



実践報告

図書からつながる地域の輪

松山市教育委員会 地域学習振興課

東雲公民館主事 中丸まどか

市内中心部の文教商業地区にある東雲公民館は、地域の人々のコミュニケーションの場として親しまれています。公民館図書室ではボランティアの方々との世代を超えたあたたかなつながりのもと、読書推進活動を行ってきました。その取り組みについて報告します。

実践報告

えほんのもり

～私の心の道しるべ～

絵本つむぎびと 稲葉良恵

「残す」から「つなぐ」へ。

絵本の”シュウカツ”をきっかけに人と人が絵本でつながる場所「えほんのもり」が生まれるまでの道のりを、出会いの絵本とそのエピソードを交えてお話しします。

展示コーナー

- 宇佐美まこと先生著書コーナー
- 東雲公民館の活動
- ようこそ「えほんのもり」へ
- 「こども本の森 松山」コーナー

... etc

講演



講師：宇佐美まこと

演題：息を吸うように読み、 息を吐くように書く

子供のころから読書好きだったので「読む」ことは呼吸をするように自然なこと。それが「書く」方にころんと傾いたのも自然な成り行きだったのかもしれない。怪談から始めたのは、松山平野の片隅の田園地帯で育ったからだと思う。ビデオもゲームもスマホもない時代、草木や風や暗闇に近しい環境の中で五感が鋭敏になり、そこに本を読むことから得る想像力が加わって、知らず知らずのうちに物語の作り手としての基盤が出来上がっていた。それから人間に対する尽きせぬ好奇心も書く原動力になっている。読書好きの田舎の少女が、いかにして小説家になったか。今までの著作を読み返してみると、その過程が記してあると気づいた。いくつかの過去の作品を紐解きながら、こうした部分や人間への興味などを話していきたい。

講師 プロフィール

小説家。松山市在住。仕事と家事の合間に文章を書き始め、2006年に第1回『幽』怪談文学賞で大賞を受賞しデビュー。2017年に「愚者の毒」で第70回日本推理作家協会賞を受賞。ホラーだけでなくミステリー、ファンタジー、社会派、歴史物など作品の幅を広げ精力的に創作活動を続けている。

